

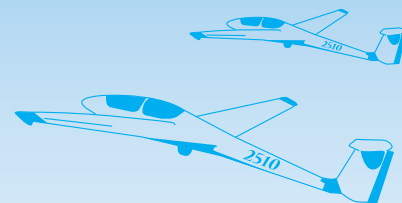
国際ロータリー第2510地区 2009～2010年度

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009

8



CONTENTS

- ガバナーレター☒……………☒1
- 会員増強月間に際して☒……………☒2
- 2009-2010年度地区委員会活動計画…………… 3～10
- 地区会員増強セミナー報告☒……………☒1
- 地区大会のご案内☒……………☒2
- 日台ロータリー親善会議参加ツアーのご案内☒……………☒3
- 例会変更等について
新入会員の紹介・訃報☒……………☒4
- ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い
文庫通信☒……………☒5
- 地区カレンダー(8月・9月)☒……………☒6

国際ロータリー第2510地区

2009-2010年度 ガバナー 渡邊恭久

2009-2010年度 「ロータリーの未来はあなたの手の中に」
国際ロータリーテーマ ～The Future of Rotary is in Your Hands～



国際ロータリー第2510地区 2009-2010年度

【基本方針】

環境・人・子どもに目を向けよう

環境は地球人の普遍的テーマ

人は等しく生きる権利がある

子どもは未来を持っていてそれを拓く支援をしなければならない

【重点目標】

1. 小児ガンの子どもの夢や希望を与える「そらぷちキッズキャンプ」を支援しよう
2. 水の衛生確保と飢餓追放のため活動する「WCS」を支援するクラブを応援しよう
3. 会員増強のため純増を年度初めの会員数の「1名以上の会員増」を実行しよう
4. 会員は常なる活動の意識の中で「職業倫理を醸成」し職業奉仕に心がけよう



人と人との出会い

国際ロータリー 第2510地区

2009-2010年度 ガバナー **渡 邊 恭 久**

Yasuhisa Watanabe
(滝川IRC)

パーミンガムの国際大会に行き、又友人を作りました。それは彼に思わぬアクシデントが起き、団体行動から一時離脱、独り行動の小生と一日半にわたり、一緒に移動や夕食などを共にしたことから、沢山の話を交わし彼との間が急接近したことによるものでした。

昨年のロサンゼルス国際大会でも、地区内の新しい友人Oさんが独りで参加されていて一緒に行動をしながら、いろいろな話を重ねた事により親しみが湧き、彼はぼくの友人だと勝手に思っています。

人と人との出会いから始まったロータリーは、その機会をいくつも用意して会員の交友の場を提供しています。

人は生来人を求めて生きています。

生まれて直ぐに母を求め、次には周りの人たちの優しさに傾き、ギャングエイジ、学校では級友、泣いて笑って感動をする青春時代、社会へ独立をしても会社の中で上司、同僚、部下、仕事の上での相手、得意先など、常に人と人との関わりの中で、人を求めていきます。

ロータリーでは例会と言う道場を設け、人間としての向上や職業の倫理観を醸成し、地域社会との関わりの中で人や社会への奉仕を身につけていくものだと確信をしております。

毎週の例会でクラブの会員と出会い、なかなか話の出来ない方と、とりとめのない話をしながら彼自身や、気のつかない地域のことを知り、所属する委員会でもより近く更に酒を酌み交わして意外な一面に出会って意気投合し更に深く。IMやセミナー、地区協議会や近隣クラブの周年行事で、様々な人たちと言葉を交わし、地区大会では今まで話したことがない他クラブのメンバーと挨拶や一寸した事から知り合いとなり、国際大会では、異国で幾日かを生活も共にしながら、話題や関心を持つことを共有しそれが知人や友人にと発展して人の生き方を豊かにしていくことが出来るのではないかと確信をしています。

私はガバナーノミニとして指名を受けたときから当然積極的に前に出て、多くの方と名刺を交換し、数日経てからもその名刺を読み返し彼を思い出すようにしています。こんな幸せなことはない。もっと早くこのような行動をすべきだったと今後悔しながら、このロータリーのステージを生かし、沢山のロータリアンと交友になろうと呼びかけます。友を作るのにこれ以上の条件の揃った舞台は他にないから。今になっていろいろな体験を通して、地区内会員に「友を作ろう」と声高に呼びかけます。この8月は会員増強、拡大月間です。ポール・ハリスが言う、「人の絆」に従い、出会いの幸せと、人とつながる喜び、支えたり支えられたりの生き方を実感しながら、人のために奉仕が出来る確かさをアウトサイダーの方々へ伝え、仲間になって貰うことがロータリークラブの地域における活動を更に強固にすることだと思えます。ロータリークラブで味わえる、人との出会いの価値が更に拡大出来ることを願うものです。

今年一年、地区内の会員の全てと、公式訪問を通して会える事が出来る幸せを楽しみにしている今日この頃です。



会員増強月間に際して

国際ロータリー 第2510地区

会員増強委員長 **矢橋 温郎**

Haruo Yahashi
(札幌西RC・PG)

昨年度R1会長の李東建さんは事の外会員増強に力を入れました。

世界で一番減少していてロータリー会員数世界2番目の国、日本でこんな事ではいけないと年度当初にわざわざ日本を訪れ発破を掛けに来ました。

私達当時のガバナーは全国から呼び集められました。そしてどうしても純増1名を確保するよう要請されました。又、年度途中にも私達は東京に呼び出され現在の増員数を一人ずつ言わせられました。そして今後共いつ電話で増員状況を聞くかも知れないので携帯の番号を書かされました。

それ程会員増強に力を入れたのですが5月現在で我が地区では8名の減少でしたが、年度末を迎えると例年通り大勢の退会者が出ます。まだ集計出来て居りませんが、本州方面では増員どころか拡大をした地区が3ヶ所ありました。

私はここらが減少の底かと考えて居りましたが、我が地区ではまだ底をついてないようです。

ロータリーばかりではありません。ローターアクトクラブも2つ消滅しました。それもやはり魅力あるクラブ作りが必要になるものと思います。

会員減少の原因はいつも言われているように不安定・不透明な経済環境、中小企業の減少、地方都市の過疎化があげられます。特に我が地区に於いてはこの問題が大きいと思います。

然し拡大増強を急ぎすぎて情操教育が疎かになったり、ロータリーを知らない会員が多くなったり、一人ひとりのロータリーの関心・愛情・熱意が薄れ自らの組織に自信と誇りをなくしている。

出席率、マナーも低下すると言った現象も現れます。

会員増強にはこれらを注意しながら一人でも多くの良質な会員を増強に努めてほしいものだと思います。



2009-2010年度 地区委員会活動計画



地区会員増強委員会

委員長
矢橋 温郎
(札幌西RC・PG)

1. 活動方針

地区内クラブに会員増強の趣旨を理解して戴き、渡邊ガバナー年度の地区重点目標である『会員増強のため純増を年度初めの会員数の「1名以上の会員増」を実行しよう』を達成できるように努めます。

2. 活動計画

- ①年度開始前に地区会員増強セミナーを実施する。
(6月14日開催)
- ②地区会員増強委員(地区ガバナー補佐)と連絡を取り合い、各クラブの動向を踏まえて会員の維持、増加に寄与する。
- ③年度末開催の次期地区会員増強セミナーを支援する。



地区拡大委員会

委員長
塚原 房樹
(札幌東RC・PG)

1. 活動方針

ガバナーの任務の第一は、新クラブの結成です。とは言え、当地区では2005年に函館セントラルRCさんが誕生して以来その後、新クラブは結成されていません。地区内の市町村は過疎化と高齢化が進み、都市部でも会員の減少に歯止めがかからず、アドレショナル・クラブの結成も難しい現状です。

さらに100年に一度という経済不況の今、拡大は困難な状況にあります。しかし、ロータリーの発展のためには拡大が不可欠です。新クラブの結成には、各クラブの皆さんの情報が頼りです。

- 1 あなたの近郊に、未だロータリークラブのない町村がありませんか？
- 2 あなたのテリトリーで、モーニングクラブやイブニングクラブ設立の可能性を探ってください。
- 3 食事は自前で、活動費のみの会費の安いクラブの設立はいかがでしょうか？

地区拡大委員会では、会員の皆様からの情報をお待ちしております。多少なりとも可能性がある場合、直ちに地区拡大委員会にお知らせください。我々は全面支援の体制で臨みます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



地区オン・ツー・ モンリオール委員会

委員長
酒井 正人
(函館五稜郭RC・PG)

1. 活動方針

地区会員がモンリオール国際大会に参加しロータリーの理解と友情の輪を育む機会を作ります。

2. 活動計画

- ①モンリオール国際大会をガバナー月信で広報します。
- ②ツアーが必要かを検証します。
- ③北海道ナイトを企画します。



地区文献資料室

委員長
肘井 博行
(札幌手稲RC)

1. 活動方針

会員の各クラブの利用を増進する。

2. 活動計画

- ①文献資料室資料「貸出しリスト」を改訂する。
- ②ガバナー月信に「文献資料室だより」のコーナーを設け、隔月で資料案内、利用状況について広報して行く。
- ③文献学習についての経験交流を実施する。
- ④新しい文献及び資料を購入、整備する。
- ⑤文献資料のDVD化を進める。



地区クラブ奉仕 委員会

委員長
小田切 房之
(札幌東RC)

1. 活動方針

渡邊ガバナーの方針が各クラブに浸透する様委員会の総力を傾注する。

2. 活動計画

- ①クラブ・リーダーシップ・プラン (CLP) の実施方法等について検討する。
- ②「効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標」をグループ別に集計し、3ヶ年間の推移をまとめる。
- ③地区目標である純増1名以上達成したクラブの事例を紹介する。



地区IC委員会

委員長
光 銭 健 三
(北斗RC)

1. 活動方針

- 1) インターネットを利用して情報交換を行うとともに各クラブに対して必要な情報を効率的に伝達する。
- 2) 地区ホームページの充実。
- 3) 地区委員会とクラブの距離を近づけるお手伝いをする。
- 4) クラブのIT化への協力。

2. 活動計画

- ①メールマガジンの配信
 - ・RI、「ロータリーの友」などからインターネットを通じて流通する情報や地区内の情報、さらには他地区の有用な情報を速やかにガバナーはじめ地区内の会員に電子メールで配信する。
- ②地区ホームページの作成
 - ・地区からの情報および各グループ、各クラブからの情報を掲載し情報の共有化とロータリーの広報に寄与する。
 - ・各地区委員会と連携してすべての委員会のページを制作し、地区委員会とクラブや会員との距離を近づけるお手伝いをする。

- ・速報性を生かし月信などの記事をより早くクラブに伝達する。
- ③インターネット活用の普及促進
 - ・RIのホームページやROTARY JAPANのホームページ上にある情報の取得方法や利用方法を紹介する。
 - ・IT化が進んでいるクラブの実例を参考として紹介する。
- ④クラブホームページ作成のお手伝い
 - ・ホームページ作成講習会「5分でできるホームページ作成」を今年度も継続して行う。
- ⑤委員会メンバーの相互交流によりレベルアップを図る。
 - ・オンライン (インターネット上)、オフライン (直接会う委員会) で情報交換を行うことにより、お互いのレベルアップを図り、所属グループや各クラブへフィードバックする。



地区職業奉仕委員会

委員長
山 本 雅 昭
(苫小牧北RC)

1. 活動方針

2009～2010年度RI会長となりますスコットランド出身のジョン・ケニー会長も自らの国際ロータリーの7項目にわたる今年度テーマの一つに「ロータリー独特の職業奉仕への取り組みを強調する」とあります。それに対応してRI第2510地区渡邊ガバナーも「環境は地球人の普遍的テーマ、人は等しく生きる権利がある、子どもは未来を持っていてそれを拓く支援をしなければならぬ」と言う考えから、その基本方針として、「環境・人・子どもに目を向けよう」と言っておられます。

また、挙げられている4つの重点目標の4番目に『会員は常なる活動の意識の中で「職業倫理を醸成」し職業奉仕に心がけよう』と掲げております。そんな意味で本年度は職業奉仕を考える年度とも言えるのではないかと思います。ロータリーの職業倫理、職業奉仕の啓蒙に務めたいと思います。

2. 活動計画

2009～2010年度地区職業奉仕委員会では、活動計画として、次の様に取り組み、各クラブに啓蒙していきたいと考えております。

- ①職業上の高い道德水準、倫理観を各クラブで独自な形で啓蒙していただきたい。できれば職業奉仕フォーラムを開催し会員同士での意見交換をして



いただければと思います。

- ②四つのテスト・ロータリーの綱領・職業宣言を啓蒙しクラブ会員への理解に努めていただきたい。
- ③子どもたちの出前事業・職場体験に協力していただき、こどもたちの思い出記憶を高めていただきたい。

以上により、本年度は職業奉仕月間ではなく職業奉仕年間と思っていただき、各クラブにおいては職業奉仕の倫理観を理解し、いろいろな形で独自に啓蒙していただければと思います。



地区社会奉仕委員会

委員長
阪崎 健治朗
(札幌西RC)

1. 活動方針

ロータリーの原点はクラブの主体性にあることを確認し、地区委員会は常にクラブと共にあることを自覚し、活動への支援を務めていくことを方針とする。

近年CLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)の導入が推進されているが、当委員会は導入クラブの目標活動に支援、協力する。次に各クラブの活動をより効果的に進むよう情報交換の機会を作り、さらなる活性化に寄与する。

2. 活動計画

- ①ガバナーの重点目標である「小児がんの子供に夢や希望を与える『そらぷちキッズキャンプ』」の支援要請があれば各クラブとも協議し、理解推進と協力の方法を検討する。
- ②地区が定めたグループ(多少合併する場合がある)ごとに社会奉仕関連委員長会議を年度当初に開催し、活動計画の発表や意見交換を行う。
ブロック別意見交換会の実施
Aブロック(1、2、3グループ)
7月18日(土) 午後2:00~4:00(砂川)
Bブロック(4、5、6グループ)
7月25日(土) 午後2:00~4:00(札幌)
Cブロック(7、8、9、12グループ)
7月26日(日) 午後2:00~4:00(苫小牧)
Dブロック(10、11グループ)
7月19日(日) 午後2:00~4:00(函館)
- ③クラブが推進される新規または継続プログラムに対し、支援、協力の要請があり次第、共に取り組む姿勢を維持する。

- ④各クラブの活動計画書を6月末までに収集し、それらをまとめて「活動計画一覧集」を作成し、グループ会議に活用する。
- ⑤当委員会はすでにホームページを設置しているので有効に活用し、情報の迅速な提供や連携に応じていく。



地区国際奉仕委員会

委員長
中村 真規
(札幌西RC)

1. 活動方針

奉仕の理想に結ばれた事業と専門職の人々の世界的親交により国際間の理解と親善と平和を推進することを目標に、地区内で実施されている各クラブの国際奉仕活動を支援するとともに、各クラブへ適切な情報を提供し、又各クラブより活動情報を収集し、その共有を計ることにより各クラブにおける国際奉仕活動の活性化を進め、又各会員の国際奉仕活動への理解を深める。

2. 活動計画

- ①各クラブへの国際奉仕活動取組み情報の提供
- ②WCSへの協力
- ③ロータリー友情交換への協力
- ④世界理解月間における活動の徹底と世界理解と平和の日(2/23)の啓蒙



地区世界社会奉仕(WCS)委員会

委員長
出村 知佳子
(札幌北RC)

1. 活動方針

WCSを支援するクラブの意義ある事業実現のため全面的にサポートを行う。

2. 活動計画

- ①〈参加実施へのサポート〉
 1. パートナークラブ、事業案を持っているクラブへ書類受取、フォーマットの提供等を行い、スムーズな事業開始、展開へのサポートを行う。
 2. 地区WCSモデルプランの提供により、各クラブが事業に参加しやすい環境を整える。

②〈調査、検証サポート〉

1. W C S 検証ツアーの実施により、各クラブが実際に行った事業の状況を検証できる環境を整えると共に、現地調査による新しいモデルプランの発掘に努める。(2009.11/末~12/初予定)

③〈広報、報告サポート〉

1. ガバナー月信、国際奉仕だより(国際奉仕委員会協力)等において、事業報告等を行う。クラブ独自の現地検証実施後の広報に協力する。
2. 新たに各担当委員長へのアンケート調査を実施し、それに沿った形でのW C S 事業報告会を実施したい。
3. 地区大会でのブースへ参加、広報と共に各クラブよりのW C S 事業の相談窓口としたい。(モデルプラン、マッチング等の補助金、色々な方面で委員が勉強し知識を持つ)



地区青少年交換
委員会

委員長
渡辺 哲 則
(札幌東RC)

1. 活動方針

青少年交換プログラムは、国際理解推進の機会として推進するという観点から、ロータリアンの子女のみに与えられた特権ではなくて、必要な資格条件を備えた15~19歳の若い人なら誰でも歓迎しています。

この青少年交換プログラム(長期1学年度)は、他に類のない最高のプログラムです。このプログラムに多くのクラブが参加して頂けるように、委員会一丸となって協力していきます。

2. 活動計画

- ①オーストラリア・カナダ・アメリカ・フィンランド4カ国(6地区)受け入れ、派遣。
- ②受け入れ学生歓迎会及び送別会。
- ③派遣学生壮行会。
- ④受け入れ学生・派遣学生のレクリエーションの実施。
- ⑤派遣学生のオリエンテーションの実施。
- ⑥地区行事への参加。
- ⑦インター・ナショナルナイトへの参加。
- ⑧カウンセラー・オリエンテーションの実施。
- ⑨危機管理・オリエンテーションの実施。
- ⑩ROTEX名簿作成。ROTEXとの交流。
- ⑪年間12回の委員会。
- ⑫長期・短期学生募集。



地区新世代委員会

委員長
松見 修 二
(函館北RC)

1. 活動方針

- 1) 新世代のプログラムをロータリアン一人ひとりに広く理解して頂くように努めます。
- 2) 次世代を担う若者たちにロータリーの基本理念を伝達します。
- 3) 新世代の活動を広報を活用して促進に努めます。

2. 活動計画

- ①各クラブの新世代委員会と情報交換を密にし、地区委員会との連携を深めます。
- ②9月の『新世代月間』で“ロータリアンは青少年の模範”の標語を会報や広報資料に活用するように奨励します。
- ③インターアクトクラブ、ローターアクトクラブの現状と、提唱しているクラブの関わりを深めます。
- ④青少年交換委員会が実践するプログラムを支援します。



地区インターアクト
委員会

委員長
若松 孝
(札幌モーニングRC)

1. 活動方針

国際ロータリー第2510地区には9つの高校にあるインターアクトクラブと、それぞれを支援、指導している8つの提唱ロータリークラブがあります。

地区委員会として、双方の関係が良好に、またより発展的になるよう少しでも力になるよう活動いたします。

また、地区内73のクラブのロータリアンに、インターアクターの活動をご支援、ご指導戴けるよう、知って戴く機会を増やしていきます。



2. 活動計画

- ①各インターアクトクラブの活動の情報発信
ホームページの充実などを通して、9つのインターアクトクラブの活動状況を知って戴く。
- ②年次大会の開催
- ③研修旅行の実施



地区ローターアクト委員会

委員長
柳 孝一
(札幌南RC)

1. 活動方針

提唱ロータリークラブの会長・幹事、ローターアクト委員会、クラブ会員の方と連帯を保ち、地区内ローターアクトクラブの活発な奉仕活動と、会員増強推進を目標に、提唱クラブだけではなく、広く地区内ロータリークラブにローターアクトクラブの活動を理解していただき、新しい事業を展開することを目標にいたします。そのためには、地区内ロータリアンを含む地域社会に広くローターアクトクラブを知って頂く広報活動に努めます。

2. 活動計画

【地区行事への参加と協力】

- ①ローターアクト地区大会の実施の協力と参加
- ②ローターアクト地区協議会の実施の協力と参加
- ③新世代委員会行事への参加
- ④海外研修の実施の協力と参加
- ⑤第2510地区の地区大会への参加とローターアクト会員の参加推進
- ⑥ガバナー月信を活用した地区内広報活動

【クラブ運営に関する要望と協力】

- ①クラブの会員増強と体制強化、例会運営
- ②提唱クラブ、ローターアクト委員会の指導力強化
- ③ロータリークラブとローターアクトクラブの合同例会、合同事業の実施
- ④ローターアクト週間（3月13日を含む週）のPR（最初に誕生したローターアクトクラブがRIに正式に加盟認証された日でローターアクトクラブと提唱クラブが合同で事業を行うものです。）

【その他】

- ①北海道ローターアクト交流会のホストクラブへの全面協力とロータリアンの登録推進
(第2510地区で開催、ホスト千歳RAC)
- ②全国研修会への登録、参加

- ③休止中のクラブへの再開の働きかけ
- ④未提唱クラブへ新クラブ設立の働きかけと共同提唱の提案
- ⑤提唱クラブ委員長会議の開催
- ⑥地区主催のアクトキャンプ、温泉交流会への協力と参加
- ⑦地区ローターアクト代表への指導と協力
- ⑧各クラブの活動計画書と活動報告書の作成要請



地区ロータリー財団委員会

委員長
岩城 秀晴
(札幌南RC・PG)

1. 活動方針

財団の認識を高め、世の善行を行うことが1917年にアーチ・クランフが財団への基金を創設した基本理念によりその目標を達成しよう。

2. 活動計画

- ①財団への「毎年あなたも100ドル」を寄付する。
- ②恒久基金、使途指定、大口寄付、ポール・ハリス・ソサエティへの協力。
- ③ロータリーカードへの協力。
- ④各プログラムに積極的に参加する。
- ⑤2009～2010年度、年次寄付の地区目標を30万ドルとします。
- ⑥財団の未来の夢計画を理解し、新制度への移行期の補助金の理解を今年度中に会員に浸透させる。



地区国際親善奨学金委員会

委員長
菅原 秀二
(札幌大通公園RC)

1. 活動方針

ロータリー財団の教育プログラムである国際親善奨学金は、国際理解と世界平和を促進するために、1947年初めての奨学生を送り出しました。留学期間中、ロータリーの国際親善奨学生は、留学先のロータリークラブの会合に出席して、ホスト国の人々に対する親善使節としての役割を果たすことが期待されていますし、留学終了後には地元のホストクラブを中心に、留学中

の体験について報告することも期待されています。

当委員会では、こうした奨学生の選考とともに、留学に出発するまでのサポートもおこないますので、各クラブからの積極的な奨学生の応募を期待しますとともに、留学生を送り出すスポンサークラブになりました場合には、なお特段のご協力をお願いする次第です。

2. 活動計画

2009年7月 10-11年度奨学生

第1回オリエンテーション(第1回委員会)

2009年7月 9-10年度奨学生 壮行会

2009年8月 10-11年度奨学生 英文申請書作成指導

2009年9月 10-11年度奨学生

第2回オリエンテーション(第2回委員会)

2009年9月 10-11年度奨学生

英文申請書、ロータリー財団本部へ送付

2009年12月 11-12年度奨学生

募集要項・ポスター作成

2010年1月 第3回委員会(募集要項・ポスター確認・発送)

2010年3月 10-11年度奨学生

第3回(最終)オリエンテーション(1泊の合宿予定)
(第4回委員会)

2010年5月 11-12年度奨学生候補者

最終面接選考(第5回委員会)

6~7月 10-11年度奨学生 壮行会

【11-12年度奨学生選考日程案】

募集要項・ポスター印刷完成・送付作業 2010年1月

募集開始 2010年2月中旬

各クラブへの申請書提出締め切り 4月上旬

各クラブから奨学金委員会への提出締め切り 4月末

書類審査 5月上旬

面接選考 5月下旬

合格発表 6月上旬

タリー会員に理解して戴けるように、ロータリー財団事業に対して協力する。

④更に魅力あるGSEプログラムにするために、プログラムの内容の充実を検討する。

2. 活動計画

①2009~2010年度の受入派遣地区であるスウェーデン2360地区との派遣受入に関する国際渉外活動を進めて行く。

②毎月1回委員会を開催し次々年度の受入派遣の準備に併せGSEプログラムの勉強を行う。(2510地区内のクラブに対して、GSEプログラムの理解を深めて戴く為に卓話を行う等)

③スウェーデン2360地区からのGSE団員に対する受入を担当するコーディネーター及びホストファミリーを決定し、事業への協力体制を確立する。

④2009~2010年度受入時期は、地区大会に絡まないため、引き受けグループにおいてできるだけIM等の機会を使って戴き、より多くの地区内ロータリー会員と接する機会を作る。

⑤派遣メンバーに対して、研修を通じてロータリーへの理解を高めプログラムの有効性を高める。

地区財団学友委員会



委員長
齋藤博司
(千歳セントラルRC)



地区GSE委員会

委員長
沼館 栞
(札幌清田RC)

1. 活動方針

- ①地区内のロータリー会員に対して、GSE事業に関する理解を促進するための活動を積極的に行う。
- ②GSE事業における受入派遣に関わる費用の見直しを図り、GSE事業がより充実し効果的になるよう、また気軽に実施できる環境づくりを行う。
- ③地区におけるロータリー財団事業を地区内のロー

1. 活動方針

- I 財団学友会の活動に対する助言と支援。
- II 財団学友のロータリー活動への参加促進。
- III 財団学友に対するロータリークラブ側の理解推進。
- IV 財団学友会の広報。啓蒙活動の推進。

2. 活動計画

- ①委員会の開催
年間5回の委員会を開催。活動計画の検討と確認。
- ②第6回帰国財団学友報告会及び学友会総会、懇親会の開催。
留学した財団国際親善奨学生とGSE団員の体験報告と帰国後の感想と今後の活動について発表する会。
- ③財団学友のクラブ例会での卓話機会の推進
各クラブの要望に応じて学友が卓話を行う機会をより一層作り出すと共に交流を図る。



④財団学友賛助会員の賛助金拠出への御配慮。

財団学友の存在意義を高め、学友を活用すると共に賛助会員としてご支援をお願いします。

学友会の活動費として、クラブの賛助金は大きなウエイトを占めている。

⑤学友ニュースレター発行の支援（学友会活動の報告）

学友が学友会に興味と理解を深めていくと共に、ロータリアンのロータリー財団事業への理解を深めることに貢献しています。

⑥財団学友の地区大会への促進

スポンサークラブからの積極的な働きかけをお願いする事が重要です。多くの学友が参加して、国際ロータリーへの理解を深めて載きたい。その一環として、ブースの設置を計画しています。これには、ロータリアンの学友会への啓蒙もあわせて検討しております。

⑦学友会と連携してのHP（ホームページ）の開設を計画。

一般市民への啓蒙も検討課題にしています。

⑧財団学友の移動状況の実態の再検討

⑨新規奨学生、GSE団員への支援

52～67ページ）を参照して下さい。

④地区の奉仕を含め各クラブ独自の奉仕活動、地域に密着しての会員自ら汗を流す社会奉仕が基本である。

⑤審査には、④の他に3年前のロータリー財団の寄付状況、自主申告の実績内容を参考にして決定する。

⑥この事は地元の広報機関を通じて、ロータリー活動について周知させる。

⑦補助金審査委員会は、年に2回以上開催する。



地区補助金監督委員会

委員長

中山 裕 視

（札幌真駒内RC）

1. 活動方針

補助金の使用は、ロータリアンの浄財寄付である大切なロータリー財団の資金です。

地区の奉仕活動や人道的活動を支援するために使用することが目的ですので、補助金の支出が効果的であり且つ適切に実行されることを監督いたします。

2. 活動計画

①申請書審査の公平について

②地域社会が参加し、プロジェクトが地域社会のものか

③会員の3分の2以上から賛同を得られるプロジェクトであるか

④クラブの負担、補助金の割合、会員の奉仕度合はどうか

⑤ただの寄付又は賞品の提供などではないか

⑥ロータリアン及びその関係者に補助金が使われていないか

以上の事を基本にして補助金使用、支出の監督をいたします。



地区補助金委員会

委員長

須田 義 雄

（札幌南RC）

1. 活動方針

地区補助金は地域社会のために行われる短期の人道的プロジェクトをロータリー地区が支援する方法です。

地区の奉仕活動や人道的活動を支援する補助金申請に対し、その活動内容について審査する。

地区ガバナー、ロータリー財団委員長、担当委員に加え、監督委員の方も同席して厳正且つ公平に審査を行い決定する。

2. 活動計画

①申請書はロータリー財団セミナーの時、各クラブ会長に配布してあるが、再度交付希望を申し出ればガバナー事務所より発送する。

②申請書の受付は、7月1日～翌年3月31日までとする。

③申請に際して、その内容記載はロータリー財団地域セミナーハンドブック（2008年11月19日付、



地区米山記念奨学 委員会

委員長
黒澤 勝昭
(札幌南RC)

1. 活動方針

米山記念奨学会の使命は、『将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成する事』と掲げられております。これをふまえて、多くの会員の方々に米山奨学事業について、理解を深めていただき、さらには奨学生に援助の手を差し伸べていただけるよう、卓話や交流の機会を増やし、米山奨学事業の意義と感動を理解いただけるよう積極的な活動をしていきたい。

2. 活動計画

- ①委員会活動がスムーズに行えるよう、年3回程度委員会を開催する。
- ②10月の米山月間には、奨学生をホストしていないクラブを訪問し、奨学生にスピーチをしてもらう。併せてより多くの奨学生を援助できるように寄付のお願いをする。
- ③地区大会はもとより、他団体及び他委員会の行事に積極的に参加し、交流を深める。
- ④地区内奨学生、及び学友、多くのロータリアンと家族の交流を深め、国際親善の一助としたい。



地区米山学友委員会

委員長
大石 春雄
(札幌はまなすRC)

1. 活動方針

米山学友委員長として、米山学友会の運営を協働しながら支援し、学友会員が日本と出身国とを結ぶ懸け橋となっていただけのように推進すると共に、国際交流と国際親善に貢献できるような活動を担うことを目指します。

2. 活動計画

以下の12項目の実践を目指して活動する予定です。

- ①米山学友会の名簿を最新版へ更新
- ②学友会員との更なる交流と精神的支援の構築

- ③米山月間における各RCへの卓話の実施
- ④米山奨学生交流会への参加
- ⑤米山記念奨学委員会主催 歓送会
- ⑥米山学友会総会及び懇親会の開催
- ⑦米山学友会の家族懇親会の開催
- ⑧米山記念奨学委員会主催 米山奨学生修了者歓送会への参加
- ⑨米山記念奨学委員会 カウンセラー研修会への参加
- ⑩米山奨学生研修旅行への参加
- ⑪長沼RC主催の国際フェスティバルへの参加
- ⑫機関紙「米山だより・北海道」の発行



ロータリーの友

地区委員
中島 健
(滝川RC)

1. 活動方針

ロータリーの重要な情報が沢山載っている「ロータリーの友」誌を多くの会員に読んでいただく様、努める。

2. 活動計画

- ①クラブに「ロータリーの友」を読む機会（例会で触りだけでも報告する等）を作ってください。
- ②ガバナー月信、地区のHPを通して、「ロータリーの友」やHP「ロータリージャパン」とその他の刊行物についてPRし利用していただく。
- ③地区内情報を「友誌編集部」に送り、それを基にした取材に協力することにより「友」誌の編集に協力する。
- ④週報の発行時、ホームページの立ちあげ時に、著作権などの知的所有権（RIのウェブサイトの写真、文書、ロータリーの徽章など）に注意するよう促す。



地区会員増強セミナー報告

国際ロータリー 第2510地区

地区大会実行委員長 **篠島 弘**
(滝川IRC)

去る6月14日(日)、午前10時から、ウェルシティ札幌(北海道厚生年金会館)に於いて地区会員増強セミナーを開催しました。出席者は地区内73クラブのうち68クラブの会員増強委員長で、ガバナ―補佐12名、地区役員、地区幹事など総勢約100名が参集しました。



矢橋温郎ガバナ―の挨拶の後、2008-09年度地区会員増強委員長であった酒井正人パストガバナ―が「地区の会員増強の現況報告」を行った。第2510地区の会員数は1996年の4,254名をピークに減り続けており、本年3月末で2,797人と、最多時の3分の2以下になっている。最近3年間の入退会者数をみると、期首会員数よりも期末会員数の方が少なくなっており、更に入会者数よりも退会者数が多く、地区内会員数は次第に減少している。2008-09年度の当地区の退会理由は、転勤(26%)、多忙(23%)、健康(17%)で、そのほか、不況の影

が色濃く影響を与えている。

次いで、セミナー講師である国際ロータリー会員組織地域コーディネーター(RRIMC)(Regional Rotary International Membership Coordinator)の服部芳樹氏の紹介が次期地区研修リーダーの塚原房樹パストガバナ―により行われた。服部芳樹氏は第2630地区(岐阜県・三重県)の2002-03年度のパストガバナ―であり、岐阜ロータリークラブの会員で、職業分類は耳鼻咽喉科医である。「ロータリーこの不思議の国」という演題で、



増強は会員維持を基本として、現会員の研修(定款、細則の改訂)、新会員の教育(ロータリーの心と姿)が必要と説かれた。それに続いて、決議23-34の解説、ロータリーマジックについて話をされた。

質疑応答後に、渡邊恭久ガバナ―・エレクトの謝辞、最後に佐々木正丞ガバナ―・ノミナーによる閉会の挨拶で地区会員増強セミナーを定刻に終了した。



国際ロータリー 第2510地区 2009~2010年度

地区大会のご案内

ガバナー 渡邊 恭久
 ホストクラブ滝川RC会長 川口 義弘
 大会実行委員長 篠島 弘

環境・人・子どもに目を向けよう

9/20(日) 記念囲碁大会 日本棋院北海道本部

10/ 2(金) 記念ゴルフ大会 空知カントリークラブ

10/ 3(土) 大会1日目
 ◆会長・幹事会 ホテルスエヒロ
 ◆地区指導者育成セミナー ホテルスエヒロ
 ◆RI会長代理歓迎晩餐会 滝川ホテル三浦華園

10/ 4(日) 大会2日目
 ◆本会議 たきかわ文化センター
 ◆記念講演(倉本聰氏) たきかわ文化センター
 ◆記念懇親会 ホテルスエヒロ

地区大会実行委員会事務局

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16
 ホテルスエヒロ7F
 TEL:(0125)22-3344/FAX:(0125)24-2755
 E-mail:rid2510odc@rotary.gr.jp

登録締切り日

8月12日

期日迄に地区大会事務局にご登録下さい。



日台ロータリー親善会議参加ツアーのご案内

開催日時：2009年10月10日(土)
場 所：台湾“日月潭 雲品酒店”
親善会議プログラム

14時30分 登録開始
15時30分 開会式
17時30分 懇親晩餐会
20時00分 閉会

登録料：10,000円

登録締め切り 2009年8月10日(第一次)

以降は定員になり次第に締め切ります。



幹事地区 第2580地区(日本側)
日台ロータリー親善会議総裁 前川昭一(第2580地区パストガバナー)
日台ロータリー親善会議会長 多田 宏(第2580地区ガバナー)

日本・台湾双方において“日台ロータリー親善会議”が発足し、第1回の日台ロータリー親善会議が2008年5月12日、パシフィックホテル東京で開催され、台湾から約160人、日本から約540人、合わせて700人ほどのロータリアンが参加しました。

本年は、第2回を2009年10月10日(土)に、台湾の日月潭で開催する運びとなりました。この機会に、双方におけるロータリー活動の現状について情報交換を行い、お互いの親善と国際理解を図りたいと存じます。日本全国のロータリアンに、家族とご一緒に、多数参加いただきたくお願い申し上げます。

なお、会議の翌朝は、台湾7地区のパストガバナーが協同で企画したマラソン大会が日月潭で開催される予定になっていますので、ご希望であれば、台湾のロータリアンの奉仕プロジェクトを間近に見て、また、参加者に声援を送ることもできます(旅行日程等の都合がありますので、マラソンを見学したい場合は、事前にご連絡ください)。

◆Aコース(台北1泊・台中1泊)

2009年10月9日(金)～10月11日(日) 2泊3日

◆Bコース(台北1泊・高雄1泊・日月潭1泊)

2009年10月8日(木)～10月11日(日) 3泊4日

◆Cコース(台中2連泊)

2009年10月9日(金)～10月11日(日) 2泊3日

◆Dコース(台北1泊・台中1泊観光なしコース)

2009年10月9日(金)～10月11日(日) 2泊3日

お申し込み、お問い合わせは、下記にご連絡下さい。

日台ロータリー親善会議 事務総長 岩尾 碩
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8
全医協連会館1階 第2580地区ガバナー事務所

TEL 03-3538-0211・FAX 03-3538-0212

★地区組織図の変更について

- ・地区米山記念奨学委員会について、下記の通り変更となりましたのでお知らせ致します。(敬称略)

委員長 黒澤勝昭(札幌南)	委員 大石春雄(札幌はまなす)
副委員長 半田善行(小樽)	委員 武藤哲雄(赤平)
委員 高坂輝雄(札幌あけぼの)	委員 山田雅敏(小樽)
委員 瓜俊雄(砂川)	委員 佐藤茂(滝川)
委員 大作佳範(札幌幌南)	

- ・地区ロータリー財団委員会委員として、出村知佳子(札幌北)が選任されました。

★クラブ幹事の変更について (敬称略)

- ・小平RCの幹事齊藤展正が退会したため、空橋仁に変更となりました。
- ・洞爺湖RCの幹事が亀倉利夫から前谷休市に変更となりました。

★例会曜日・例会時間・例会場の変更等について

- 羽幌RC：8月6日(木)の例会を8月9日(日)に変更
移動夜間例会 18:00～ 場所：羽幌町役場車庫
8月13日(木) 休会
8月27日(木) 移動夜間例会 場所：端肉店
- 江別RC：8月13日(木) 休会
8月20日(木) 移動夜間例会「夕涼み例会」18:30～
場所：レストラン マキシドルパ(江別市高砂町6)
- 江別西RC：8月11日(火) 納涼親睦夜間例会 18:00～ 場所：レストランあおい
8月18日(火) 休会
- 岩見沢RC：8月13日(木)の例会を8月11日(火)に変更
3クラブ合同納涼夜間例会 18:00点鐘
- 岩見沢東RC：8月11日(火) 3クラブ合同納涼夜間例会 18:00点鐘
場所：岩見沢平安閣
8月18日(火) 通常夜間例会を時間変更 12:30点鐘
- 千歳セントラルRC：8月11日(火) 移動例会「清掃作業」 場所：日航ホテル周辺
8月18日(火) 夜間例会 場所：日航ホテル屋外テラス
8月25日(火) 移動例会「農園作業」 場所：ふれあい農園
- 室蘭RC：8月13日(木) 休会
- 室蘭東RC：8月12日(水) 休会
- 室蘭北RC：8月11日(火) 休会
8月25日(火) 通常例会「臨時クラブ総会」 12:30～
場所：ホテルサンルート室蘭
- 苫小牧RC：8月14日(金) 休会
8月21日(金) 夜間例会「会員・家族、納涼の夕べ(ビール例会)」18:00～
場所：グランドホテルニュー王子

新入会員の紹介

(敬称略)



小平RC
板垣 良二
09年7月1日入会



札幌はまなすRC
小山内繁樹
09年7月1日入会



岩見沢RC
青木 稔
09年7月2日入会



苫小牧東RC
奥野 義雄
09年7月2日入会



千歳セントラルRC
鈴木 英範
09年7月7日入会



苫小牧北RC
渋谷 知宏
09年7月7日入会

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますと
ともに、心からご冥福をお祈り
いたします。



神部 弘二会員 (滝川RC・名誉会員)
平成21年6月26日逝去(享年94歳)

ロータリー歴

1958年8月16日 入会(チャーターメンバー)
1963年～1964年度 第6代会長
1994年より 名誉会員

表彰関係

- ・ロータリー財団
ベネファクター
- ・マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
- ・(財)ロータリー米山記念奨学会
米山功労者4回



2012～2013年度 ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 渡邊 恭久
地区ガバナー指名委員長 丸山 淳士

2012～2013年度地区ガバナー・ノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所気付）宛、文書（書式任意）をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナー・ノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～5項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

〔参考〕国際ロータリー細則第13条（ガバナーの指名と選挙）

国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定

文庫通信

(262号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

◆ロータリーの基本精神としての『サービス理念』と『職業奉仕』 菅生浩三(D.2660 月信)	2009	4P	※
◆これからのロータリー 渡辺好政(D.2690 地区大会記念誌)	2009	6P	※
◆約束を守ろう！ポリオ撲滅 岩淵 均(D.2770 月信)	2009	8P	※
◆一九一一年のロータリーのToleration(寛容)とPhilosophy(哲学) 坂本俊雄(D.2750 新会員研修セミナー研修資料)	2009	1P	※
◆ロータリーの奉仕・Serviceをめぐる一〇年間の大議論 一九二三年の二一三三四号決議 坂本俊雄(D.2750 新会員研修セミナー研修資料)	2009	2P	※
◆貧困への挑戦 識字プロジェクト 竹腰兼壽(D.2630 月信)	2009	1P	※
◆ロータリーにおける社会奉仕について 勝野露観(D.2640 月信)	2009	10P	※
◆ロータリーの職業倫理訓逐条解説(10)～(12) 青木伸翁(D.2770 月信)	2009	3P	※

※ デジタル化した資料

利 用 方 法

文庫資料は自由に閲覧できますが、電話や書信によるお問合せも承ります。お問合せは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願い致します。

文庫資料をご希望の場合は

- ・発行先に在庫のある資料については、発行先をご紹介致します。
- ・絶版のものは実費（1枚20円+送料）でコピーサービスを致します。一部PDFで閲覧できます。
- ・重複資料はご希望により無料進呈致します。
- ・ビデオテープは有料でダビングを致します。

貸出し

- ・視聴覚資料（スライド・フィルム）は予約制（申し込み用紙有）で貸出し致します。

登録資料の紹介

- ・「資料目録」をクラブ事務所に備付用としてお送りしてありますので、ご利用願います。「目録」をご希望の場合はお申し込みください。
- ・「ガバナー月信」に「文庫通信」欄を設けさせて頂き、皆様のご参考になるような資料の紹介を致しております。
- ・「ホームページ」を開設しております。分類別に検索可能です。

ご寄贈

- ・個人の著作、クラブ発行のもの、地区発行のもの等々、いずれも内外を問わずロータリーに関する資料をご寄贈願います。文庫に保存して皆様のお役に立てさせて頂きます。

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日

地区カレンダー（8月・9月）

8月 会員増強月間		9月 新世代のための月間	
1(土)		1(火)	公式訪問（千歳セントラルRC）
2(日)		2(水)	公式訪問（栗沢RC）
3(月)	公式訪問（三石RC）	3(木)	
4(火)	公式訪問（様似RC、浦河RC） ～7(金) インターアクト海外研修（韓国）	4(金)	～5(土) 第10回ロータリー日韓親善会議（ソウル）
5(水)	公式訪問（静内RC）	5(土)	～6(日) 地区野球大会（静内）
6(木)	公式訪問（えりもRC）	6(日)	
7(金)		7(月)	公式訪問（蘭越RC）
8(土)		8(火)	公式訪問（小樽RC）
9(日)		9(水)	公式訪問（倶知安RC、余市RC）
10(月)		10(木)	公式訪問（岩内RC）
11(火)	公式訪問（札幌西RC）	11(金)	～12(土) 第1回ガバナー・エレクト研修セミナー（東京）
12(水)			公式訪問（札幌あけぼのRC）
13(木)			札幌南ローターアクトクラブ創立35周年記念式典（札幌）
14(金)		12(土)	
15(土)		13(日)	
16(日)		14(月)	
17(月)	公式訪問（函館亀田RC）	15(火)	公式訪問（札幌清田RC、札幌セントラルRC）
18(火)	公式訪問（函館東RC、七飯RC）	16(水)	公式訪問（札幌RC）
19(水)	公式訪問（長万部RC、森RC）	17(木)	公式訪問（江別RC）
20(木)	公式訪問（北斗RC）	18(金)	ロータリーの友 ゾーン会議（東京）
21(金)	公式訪問（函館五稜郭RC）	19(土)	
22(土)	公式訪問（松前RC）	20(日)	地区大会記念囲碁大会（札幌）
23(日)		21(月)	敬老の日
24(月)	公式訪問（札幌南RC、札幌大通公園RC）	22(火)	国民の休日
25(火)		23(水)	秋分の日
26(水)	公式訪問（札幌モーニングRC、新札幌RC）	24(木)	
27(木)		25(金)	
28(金)	公式訪問（小樽南RC）	26(土)	
29(土)		27(日)	2010-11年度地区研修リーダーセミナー（東京）
30(日)	(財)ロータリー米山記念奨学会評議員会（東京）	28(月)	
31(月)		29(火)	七飯RC創立40周年記念式典
		30(水)	

2009年8月のロータリーレート 1ドル94円



ロータリーの未来は
あなたの手に



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009-2010

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

国際ロータリー第 2510 地区
2009-2010 年度 ガバナー



2009-2010 Governor
Yasuhisa Watanabe

渡 邊 恭 久

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F
TEL 011-207-2510 FAX 011-207-2512 E-mail : rid2510@rotary.gr.jp
<http://www.ri2510.gr.jp/>